

道の駅活性化ビジョン作成業務

審査講評

道の駅活性化ビジョン作成業務に関するプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、提案内容を厳正に審査した結果、下記のとおり最優秀提案者を選定したので、次のとおり講評します。

1. 審査経過

本業務に意欲のある事業者に対して提案を募集し、最も優秀な提案をした事業者を選定することとし、令和4年4月22日より公募を開始し、5月26日のプレゼンテーション及びヒアリングにおいて以下の事業者を選定しました。

2. 審査結果

最優秀提案者:株式会社エブリプラン

72点 /100点

3. 審査講評

今回、参加したのは5つ事業体(4社、1コンソーシアム)で、県外からの参加が多いことから、コロナ禍に配慮し、オンラインで審査を実施しました。採点表を集計したところ上位2社の評価が高く、僅差になったため、この2社を中心に協議し、最終的に株式会社エブリプランを選定しました。

株式会社エブリプランはソフトとハードの両面において支援できる総合力が他の参加事業者に比して秀でておりと評価され、対象となる道の駅の現状を最もよく把握している点や、チームビルディングの考え方、4つの道の駅に対して細やかな伴走支援が期待できる点についても評価されました。

現在、道の駅の経営環境は非常に厳しい状況にあり、どこも人的リソースが不足しています。その中で、市内4つの道の駅と寄り添い、伴走するのは簡単なことではありませんが、しっかりと現状に向かい合い、道の駅活性化に資するビジョンとアクションプランをつくっていただくよう期待しています。

4. 選考委員

委員長	工藤 泰子	島根県立大学人間文化学部 教授
委員	有元 純代	雲南市観光協会 観光推進員
委員	陶山 祐介	雲南市商工会 経営指導員
委員	小林 慎一	JAしまね雲南地区本部 営農部営農企画課長
委員	板持 保吉	掛合町地域自主組織連絡会議会長
委員	吉山 治	雲南市 副市長
委員	西村 健一	雲南市 政策企画部長